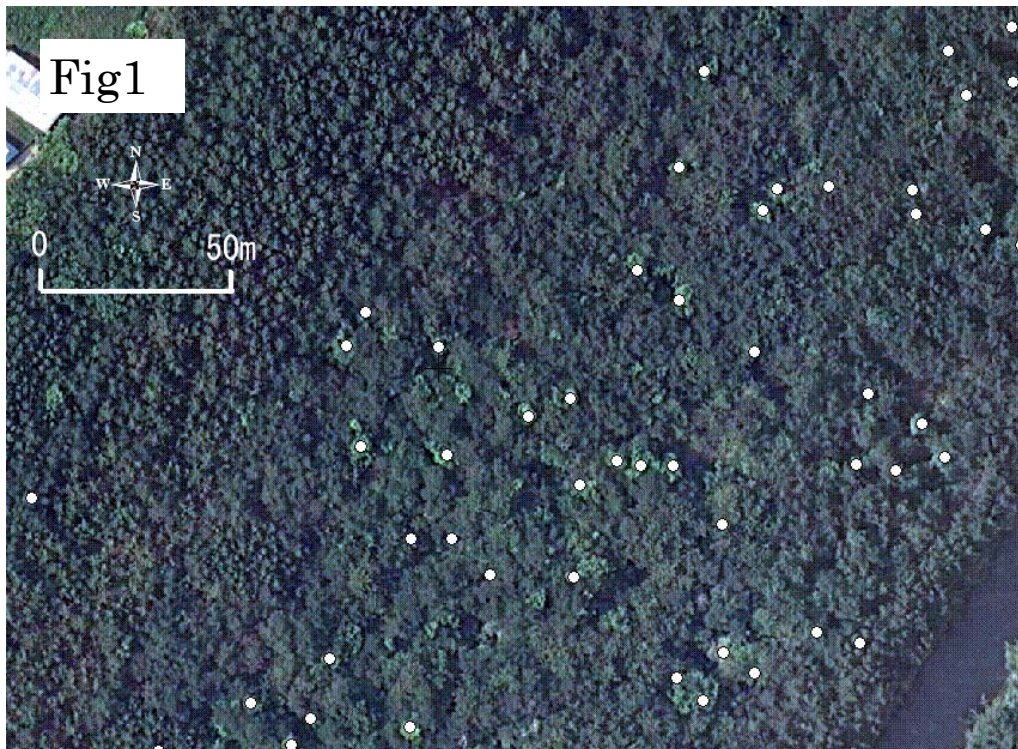


仙台湾岸防潮マツ林の被害(3)

列状倒木の成因を考える



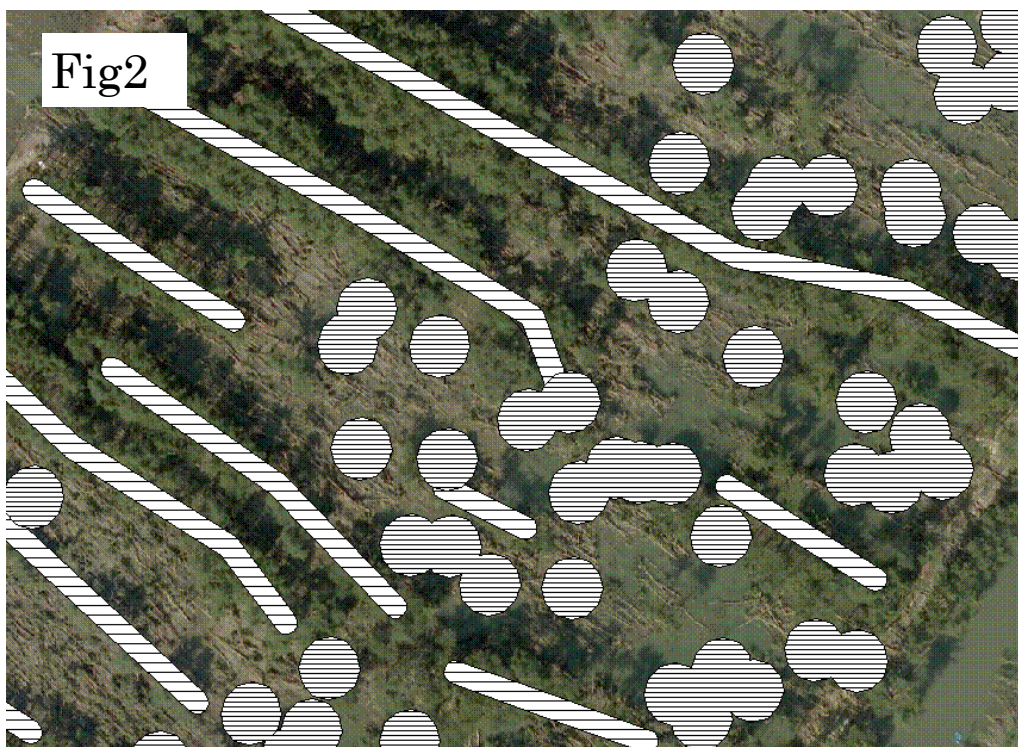
東北地方太平洋沖地震により発生した津波で、仙台湾岸域の防潮マツ林も大きな被害を受けました。植栽後の年数が経過した林分では列状に倒木が発生するという現象が確認できました。

海側から押し寄せた津波が地表面のわずかな凹凸で防潮林に影響を及ぼしたのではないかと考えられます。

そこで同一地点の津波前の空中写真と比べてみました。白抜きの点は湿地で生育するハンノキの位置を読み取ったものです。

ハンノキは防潮林の中でも湿地つまり低い立地で生活しています。

Fig2の○が周囲よりも低いと考えられる立地です。低いところをつなぐように倒木が連なっている様子を読み取ることができます。



※空中写真は国土地理院のホームページからダウンロードして使いました。